

学校訪問シリーズ 27

臼杵市立上北小学校から学ぶ

学校の教育目標「元気とやる気とやさしさあふれる上北っ子の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「協働的な学び（知識・技能）」「表現力（思考力・判断力・表現力等）」「基本的習慣（学びに向かう力、人間性）」と定め、組織的に取り組んでいます。

学校経営から学ぶ

本校は、行事後の反省においては、「どのような力がついたのか」「今後どのような活動を取り入れると良いか」と、内容よりも上記の資質・能力が育成されたかを意識するようにしています。今後は、これらの資質・能力を、学年に応じた内容へと進化していくことが期待されます。

また、そのような資質・能力を子ども達が発揮できるように、児童会とも協力しながらほめることを中心に取り組んでいます。例をあげれば、縦割り班の活動では上級生が下級生をほめるだけでなく、下級生も上級生から学んだことを伝えています。また、給食前の放送でも、子ども達が良かった事を伝えています。安心、安全な環境をつくることで、それぞれの子どもらしさを出せるような取組は見事です。

また、小一小連携においては、ブロック内の3校の1年生がオンラインを使った交流を行っています。このようなことを継続していれば、コロナが落ち着いたらさらなる交流も期待できますね。

授業から学ぶ

基本的な学習習慣が確立されているので、全ての学級において子ども達が自分の思いを発言する様子を見ることができました。特に算数の授業では多様な考えが出され、私たち教師も多くの事が学べ、今後の指導に活かせると思いました。また、指導案の「振り返り」も、教師が願う具体的なゴールの姿を子どもが表現するような言葉で示しているのが「ねらい」との連動や評価規準が明確でした。

今後は、子どもどうしの学び合い等を多く取り入れることで、学校が育成を目指す資質・能力が育成されると思えました。その際は、教師は全体を俯瞰的に見ることで、それぞれのグループの良さや進捗について形成的な評価を行い、次への活動につなげると良いと思います。



NO.205 2022年10月 臼杵市立上北小学校

自治の力

話し合いをとおして、友達の思いを知る。だから、みんなが納得する方法が見つかる。



NO.218 2022年10月 臼杵市立上北小学校

比較する

友達の発表を聴きながら、自分の考えと比べる。すると、新たな発見がある。



NO.209 2022年10月 臼杵市立上北小学校

力がつく時間

授業の終末。自分の力だけで問題を解く。学んだことが定着する。自分の力となる。



NO.211 2022年10月 臼杵市立上北小学校

自分の考え

まずは自分で考える。正解は一つでもやり方は複数ある。説明の仕方は無限にある。



NO.206 2022年10月 臼杵市立上北小学校

挑戦する!

見守ってくれる先生がいる。応援してくれる友達がいる。だから、挑戦できる。



NO.210 2022年10月 臼杵市立上北小学校

やる気の拳手

天井を突き刺すよう、真っ直ぐ腕を伸ばす。そして、笑顔でやる気を示す。



NO.207 2022年10月 臼杵市立上北小学校

正確さ

正確に作業をしなければ、正しいことはわからない。だから、細部にこだわる。